

平成 27 年 4 月 21 日

中央労働災害防止協会
 教育推進部長 角元利彦
 【照会先】
 総務部 上席専門役 間宮直樹
 (電話) 03-3452-6542 (FAX) 03-3452-9225
 E-mail koho@jisha.or.jp

熱中症予防対策シンポジウム

—気象、労働衛生管理、行政の各分野から—

大阪 5/19 (火)、東京 5/22 (金)

中央労働災害防止協会（中災防）では、働く人の安全と健康のために、「熱中症予防対策シンポジウム」（別添）を大阪と東京で開催します。

例年、熱中症により 20 人前後の死亡災害が職場で発生していますが、記録的猛暑だった平成 22 年には 47 人の死亡災害が発生しています。

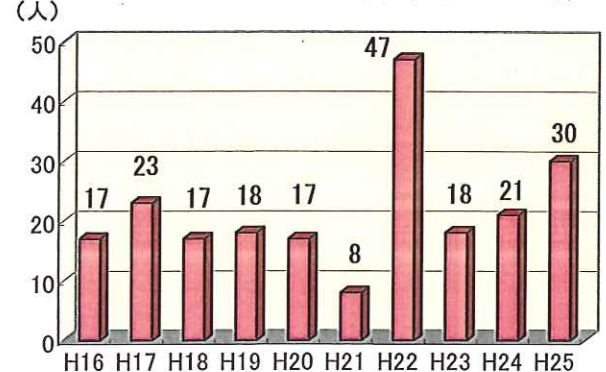
このような状況のもと、本格的な暑さを迎える 7 月の「熱中症予防強化月間」に備える観点から、すべての職場において積極的に熱中症予防対策に取り組むことが必要になります。

そこで、今年のシンポジウムでは気象、作業環境改善、労働衛生行政の分野から熱中症の専門家をシンポジストとして迎え、職場での熱中症リスクの低減対策など積極的に熱中症予防を進めていくための議論が行われます。

また、午前の部の講義では、テキストに、主に製造業における暑熱環境の実態や対策を調査し、それらの結果を踏まえながら熱中症の基礎知識、暑熱作業に関するリスクアセスメントの考え方、事例等をまとめた『熱中症予防対策のためのリスクアセスメントマニュアル』を使用、解説します。

また、併せて両会場では熱中症対策の各種用品展示も行います。

熱中症による死者数の推移(平成16～25年)



資料出所：厚生労働省「労働者死傷病報告」

熱中症予防対策シンポジウム

大阪会場：平成 27 年 5 月 19 日 (火) 9:30～17:05

エル・シアター (大阪市中央区北浜東 3-14 エル・大阪本館 2 階)

東京会場：平成 27 年 5 月 22 日 (金) 9:30～17:05

サイエンスホール (東京都千代田区北の丸公園 2-1 科学技術館内)

(裏面へ)

【シンポジスト】

○ 気象の観点から

「今年の夏の気象と熱中症になりやすい気象条件」

村山 貢司（気象予報士）（大阪会場・東京会場）

○ 産業医と衛生管理者の観点から

「熱中症発生のメカニズムからみた予防対策」

堀江 正知（産業医科大学 産業生態科学研究所所長・教授）

（大阪会場・東京会場）

○ 職場の作業環境改善の観点から

「暑熱環境における労働衛生対策について」

瀧口 好三（新日鐵住金株式会社 名古屋製鐵所 安全環境防災部

安全健康室）（大阪会場・東京会場）

○ 国の熱中症予防対策について

「職場における熱中症対策について」

・北田 典之（大阪労働局労働基準部健康課長）（大阪会場）

・泉 陽子（厚生労働省安全衛生部労働衛生課長）（東京会場）

【Webで詳細を確認】

中災防 熱中症シンポジウム で **検索** 

中央労働災害防止協会のトップページから詳細がごらんいただけます。

<http://www.jisha.or.jp/>

JISHA 中災防

（注）中災防は、昭和 39 年に労働災害防止団体法に基づき設立された団体で、事業主の自主的な労働災害防止活動を支援するため、企業の人材の育成、安全衛生の専門技術の提供および最新安全衛生情報の提供などの安全衛生に関する総合的な事業を行っています。

会 長：榊 原 定 征（日本経済団体連合会 会長）

理事長：関 澤 秀 哲